



お知らせ

- ・INTO 世界大会出席 9月7日(月)～11日(金)
- ・六甲山荘秋の特別公開 9月19日(土)～27日(日)
- ・鍛鉄作家西田光男展 六甲山荘 9月19日(土)～27日(日)
- ・セミナー上期 第5回 9月26日(土)
- ・畑儀文の合唱教室 9月28日(月)
- ・セミナー下期・東京企画 軽井沢訪問 10月17日(土)
- ・親子草木染教室 10月24日(土) 六甲山荘
- ・てづくり工房ほりだし市 11月3日(火・祝)

<創立15周年・認定NPO認証記念>

アンサンブル・アメニティ・コンサート ～音楽は“HEIWA”とともに～

7月の講演会につづいての記念事業として、コンサートを開催します。今回のテーマはヴォーリズが作曲した讃美歌の題からもらってつけました。企画・実行委員には畑先生の合唱教室のメンバーがあたり、チームワークの良さを発揮しています。

日時 **11月23日**(月・祝) 午後2時

出演 アンサンブル・アメニティ

(畑儀文・テノール、高本一郎・リュート、赤松由夏・ヴァイオリン、春木浩子・ハープ)

会場 カトリック夙川教会

参加費 会員とその紹介 2,000円 一般 2,500円

定員 250名のカトリック夙川教会を満員にできるよう、お知り合いを大勢お誘いください。チラシをこの封筒に同封しています。どうぞご活用のおうえたたくさんのお客さまをお連れ下さい。



<2015年度下期セミナー>

軽井沢探訪

建物の保存を考える in Tokyo

日時 10月17日(土) 12時25分 旧軽ロータリー集合

行程 旧軽井沢 → 片岡邸(ヴォーリズ設計) → 聖パウロ教会 → 聖公会 →

アームストロング山荘(ヴォーリズ設計) → ユニオン教会 →

集会所・クラブハウス → 旧三笠ホテル → 旧軽井沢(5時ごろ)

参加費 会員 2,000円 一般 2,500円 定員 20名

申込締め切り 10月7日(水) ただし定員に達し次第締め切ります

片岡邸は会員の片岡秀之さんの所有です。アームストロング山荘とともに、特別に内部見学をさせていただきます。また前泊、後泊のホテルも手配しております。せっかくの軽井沢をゆっくり楽しもうという方は宿泊もご予約ください。詳しくは同封の案内チラシをごらんください。



ご報告 セミナー上期 第4回 7月25日(土) 草志舎

豊岡でコウノトリ育む農法を当初から実践し、コウノトリの野生復帰に尽力されてきた畷悦喜さんのお話ですが、台風のため福知山線が運休となり1週間延期でのセミナーとなりました。コウノトリのエサとなる小動物が生きられる田んぼや川を復活させるための長年の取り組み、工夫、ご苦労が語られ、参加者からも次々に質問も出て、充実したひと時でした。畷さんはお土産にコウノトリのお米と採れたてのトウモロコシもお持ちくださり、参加者でありがたくいただきました。



《親子でアート》 六甲山荘で草木染をたのしもう

六甲山荘での子どものイベント、昨年につづき草木染教室です。山荘の庭で集めた栗のイガや木の葉を使っての絞り染めは、どんな色に、どんな模様になるのか、楽しみです。

日時 10月24日(土) 午前10時～ 場所 ヴォーリズ六甲山荘

参加費 子ども(小学生以下) 1,500円

保護者(会員) 2,000円 保護者(一般) 2,500円

(いずれも材料費、昼食の石窯ピザ込み)

持ち物 汚れてもいいエプロン、厚手のゴム手袋

定員 子どもと保護者のペア10組(20名)

お子さんだけの参加はご遠慮ください

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。



昨年の教室風景

ほりだし市・11月3日(火・祝)開催

毎年恒例のほりだし市です。皆さまからの手作り作品と寄贈品を募集しています。手作り品は特にパン、ケーキ、惣菜が人気です。皆さんが普段作っておられる家庭の味をぜひお寄せください。また地方のお取り寄せで「これは！」というお勧めがありましたら、お知らせください。

また前日の準備と当日に大勢のスタッフが必要です。みんなでにぎやかに一日を楽しみましょう！

出品申込書を同封いたします。ご出品の方、スタッフご参加の方はご連絡ください。

お待ちしております。



六甲山荘～秋の特別公開と 鍛鉄作家西田光男作品展～

六甲山荘は9月の連休をはさんで連続オープンする特別公開をします。

9月19日(土)～27日(日)の9日間です。

この期間に西田光男さんの作品展が山荘で開催されます。西田さんは世界的に認められた鍛鉄作家で、六甲山荘の門扉も制作していただきました

期間中イベントも企画されています。(一部有料・要予約)

19日(土) 鍛鉄デモンストレーション

トークセッション、ミニコンサート、パーティー

20日(日) 西田光男のライドトーク

23日(水) 石窯ピザ(要予約)

小原流家元・小原宏貴さん[生け花とアートを語る]

26日(土) 西田光男のライドトーク

27日(日) 鍛鉄デモンストレーション

詳しくは同封の案内チラシをごらんください。

要予約のイベントへのお申込みは事務局まで。

＜主催：文化遺産継承協議会＞

アムニティ・アカデミーの第Ⅶ期セミナーは文化遺産継承協議会の主催で、「わたしたちにとって文化遺産とは～その2」という題で次のように開きます。歴史ある建物が次々と消えていく時代に、貴重な文化遺産をどのようにすれば、私たちの手で次代につなげていけるかを、さまざまな角度から探ります。

9月26日(土) 「オランダの文化遺産の保存」

講師 奥村太朗

文化遺産の保全率が世界でも有数といわれるオランダで実効をあげている「オランダ方式」について、現地での実見をふくめての報告です。

参加費：会員2,000円 一般2,500円

定員：20名(定員に達し次第締切ます)

会場：草志舎

講演会&調査報告会 7月11日(土) 神戸女学院

大盛会でした。森院長をはじめ各講師のお話もよく、キャンパスツアーをふくめて充実した内容でした。参加者からは「いい会でした」「感激しました」という声がたくさん寄せられました。企画チームの皆さん、当日スタッフの皆さん、そしてチケットを387枚も売り上げてくださった会員の皆さんのおかげです。ありがとうございました。次の欄に講演会の感想が掲載されています。どうぞお読みください。

◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

講演会を終えて思うこと

徳平 真弓

いよいよ明日は講演会。何があっても寝坊は許されな
い。家中の目覚まし時計をセットし、主人には出張先から
のモーニングコールをお願いした。久しぶりに味わう
緊張感…。そして、無事講演会当日の朝を迎える事とな
った。

神戸女学院の卒業生として実行委員に…とお声をかけ
て頂いてから講演会当日までの間、女学院の、アメニテ
ィの、そして人生の先輩に交じって何度も検討会に同席
させて頂いた。…私に何が出来るだろう？お役を果たせ
るだろうか？毎回そのような気持ちで草志舎に赴いた。

私がアメニティに入会して一年になる。アメニティの
活動を学ぶため、時間が許す限り勉強会や会合、見学会
に参加させて頂いてきたが、そのたびに思う事がある。
一 誰が号令をかけるわけでもなく、各々がその場の空気
を感じ、皆一つの目標を持って自分に出来る役割を的確
に果たされる、まさに【気配りとチームワーク】の行き
届いた、なんと心地よい場所だろう～という事だ。

講演会当日も、私はこの【気配りとチームワーク】に
助けられた。多くの方がスタッフとしてお手伝い下さり、
各々の持ち場でにこやかにお客様を出迎えておられた。
その表情をファインダー越しに見ながら、あのような大
きなイベントを笑顔で大成功にしてしまう、アメニティ
の会員お一人お一人の、協会に対する強い想いを感じた。

後日、講演会に参加下さった方々から、「心温まる、和
やかな会でした。」というお声をたくさん頂戴した。
Amenity という言葉が意味する“心地よさ”を、お客
様にも感じ取って頂ける、素晴らしい会であった。



創立 15 周年&認定 NPO 認証記念講演を終えて

金川 玲子

7月11日暑い陽射しのなか神戸厄神駅に降り、遠い
昔に歩いた記憶を辿りつつ神戸女学院に向かった。しか
しその記憶は曖昧で、道順もそして正門を潜ってからの
景観もほとんど覚えていなかったが、噴水池のある中庭
に辿り着いた時記憶が蘇ってきた。洗練されたモダンな
建物と隅々まで手入れの行き届いた庭。当時も晴れた暑
い日だったように思うがなぜか背筋がスッと伸び、「学ぶ
為の環境が整えられている」と感じた事を思い出した。ヴ
ォーリズの「学舎が教育する」という設計思想を当時は
知らなかったが、自然にその想いが伝わってきたのかも

しれない。

12時半を過ぎると、皆暑いなか汗を拭きながらも続々
と講堂に集まって来られ、あっという間にほぼ満席とな
った。私は講堂の後方に座り、陽が射し入る中、繊細に
デザインされた紋様、柔らかな曲線を使った柱やプロセ
ニウムの陰影を眺めながら講演やパイプオルガンを聴け
るという状況に、とても贅沢な時間を過ごしているとい
う心豊かな気持ちになっていた。

当協会が15年もの間活動を続けてこられた事、認定
NPO 認証を得られた事、その記念講演を国の重要文化
財に指定された神戸女学院で行われた事、全てが本当に
素晴らしく凄い事だと思います。ここに至るまでに費や
された多くの労力、時間、知識はいくら活動記録や感想
を読んでも知り尽くせないが、15年前の第一歩がなけ
れば今日がない訳で、一步を踏み出してみる事の大切さ
を改めて教えられた。私も文化遺産継承協議会のメンバ
ーながら本当に些細なことしか出来てないですが、どん
な形であれ参加する事で少しでも歩みを進められると信
じて…一緒に大切な建造物を継承していきましょう！



「帰りにたくない」-記念講演会と見学会

二村 盛寧

7月11日、神戸女学院での記念講演会に出席させてい
ただきまして、ありがとうございます。講演会、見学会
を通じての感想を以下に述べてさせていただきます。

今日では産業革命遺産が世界遺産に登録されることが
決定されるなど、近代遺産、近代建築の文化財的価値が
高まりつつあります。その評価の決め手になるもののひ
とつに、建築当初の状態を損なわずに維持していること
が挙げられますが、神戸女学院校舎群が重要文化財に指
定されるに至った理由のひとつがまさにそれであること
に違いありません。

校舎を維持できたことの原因について、冒頭での神戸
女学院院長、森孝一先生よりこのようなお話がありました。
それは、「この80年の間で、学生数は約5倍に増
加したものの、大学の規模はそれほど大きくなかなか
たため、新しい建物を建てる必要が無く、少人数教育を
続けてきたことで校舎を守ることができた。」という内容
のお話でした。ともすれば、大学は規模の拡大がその
学校の発展を意味し、大きくなったことを喜ばしく感じ
てしまうものです。しかし森先生のこのお言葉は「目か
らうろこ」で、必ずしも大きくなることばかりが大学に
とって大切なことではないことに気が付かされました。

見学会では、その大学関係者の皆様の努力について建物を見ながらお話伺うことができ、それに敬意を払いつつこれからの維持管理活動に期待するとともに、自らも応援していきたいという気持ちが高まりました。

そしてもう一つ、森先生のお話して印象深かったのは、重要文化財指定にあたり、審議官の方が訪問され校舎を見て回られた後「帰りたくない」とおっしゃられたという点です。まさに、審議官の方もこの校舎群を見てヴォ

ーリス建築のすばらしさに酔い、独特の雰囲気にもまれたからではないかと思えます。私たちが見学会を終えたとき、審議官と同じ気持ちになり、去りがたき気持ちを抑えつつ学校を後にしました。

今回、このようなすばらしい講演会、見学会に参加をさせていただけましたことを深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

焔儀文の合唱教室 7月13日(月) 草志舎

いつものレッスンのあとで、焔儀文先生もまじえて11月のコンサートについて相談しました。このコンサートではヴォーリスが作曲した讃美歌「HEIWA」が歌われます。そこでテーマを「HEIWA」とすることにしました。合唱教室の有志がコンサートの企画チームになって、準備をすすめていきます。

INTO 世界大会に出席します

INTOとはInternational National Trust Organisation(世界ナショナル・トラスト機構)の略称です。世界のナショナル・トラスト組織62団体が加盟していて、日本からはアメニティ2000協会だけがメンバーとなっています。9月7日から11日までイギリスのケンブリッジで世界大会が開かれ、アメニティ2000協会からは4名が参加します。清水理事長、清水順子に学生会員のハナ・イスタムさんと山本真紗子さんです。ハナさんと山本さんはそれぞれの活動についての発表もする予定です。若い会員の活躍ぶりが楽しみです!

<お勧めの本>

近藤麻理恵著 「人生がときめく片づけの魔法」

西村 契衣子

数ある整理・収納本の中で「こんまり」こと近藤麻理恵さんのこの本は、今までの常識を大きく変えました。「一度片づけたら二度と散らからない」その方法とは、従来の場所別・部屋別ではなく、徹底して「モノ別」に考えるというものです。服なら服、本なら本と種類別に家中のモノを一か所に集め、ひとつひとつ手に取って「捨てるモノ」ではなく「残すモノ」を選んでいきます。選ぶ基準は「ときめく」かどうか。これがこんまり流です。

片づけを通して自分と向き合うことで、人生に必要なもの、いらぬもの、やるべきこと、やめるべきことがはっきりとわかるようになる、とのこと。

この本は世界の多くの国でも出版されました。米国では発売以来ベストセラーを続け、今年4月にはタイム誌の「世界で最も影響力のある100人」に著者が選ばれました。「捨てるモノに感謝する」などが日本的、神秘邸ととらえられたのか、アーティスト部門での選出で、メリー・ポピンズをもじってマリエ・ポピンズ(Marie Poppins)と称されました。ちなみに「ときめく」という英単語は無いそうでスパーク・ジョイ(spark joy)と訳されました。

読後から3年半。いつかやろうと思っていましたが、ここでお勧めしたのを機に私もこんまりさんの言う「片づけ祭り」を実行します。

(サンマーク出版刊)

六甲山荘便り

7月、8月の六甲山荘

早くからの猛暑にもかかわらず山荘は涼しい日が続いていましたが、7月なかばに襲来した台風にはびっくりしました。さいわい建物や庭には被害はありませんでしたが、道路網は不通となり、休館させていただきました。

また8月にはいってすぐに、勝手口の上でスズメバチの大群が出入りしているのを発見!スタッフの米津さんが調べて、屋根裏に巣をつくっていることがわかりました。さっそく業者に駆除と撤去をしてもらいましたが、そのあとも残りのハチがうろつくため、勝手口はしばらく使用できませんでした。

スズメバチは害虫を食べてくれる益虫ですし、六甲山は本来野生生物のテリトリーに人間が住んでいるので、文句はいえませんが、でもありがたくないお客さまですね。



トラストユースセンターの学生会員紹介～山本真紗子さん

はじめまして。この度、アメニティ2000協会様に入会させて頂きました、山本真紗子といたします。私は現在東京工業大学の博士課程に所属し、イギリスのナショナル・トラストについて研究しています。ナショナル・トラストに興味を持ったキッカケは、修士課程の時にイギリスのナショナル・トラストの保有資産を訪れた際、建築や庭園の美しさはさることながら、その保全活動を多くの人々が支えている様子に感銘を受けたからです。それ以来、「人々が作り出す歴史的建造物の価値」をテーマに研究を進めてきました。

アメニティ2000協会様のことは、International National Trust Organization(INTO)のホームページを拝見した際に初めて知りました。トラスト活動は日本でも各地で見られますが、INTOに加盟し国際的視野を持って活動なさっているのは、現在アメニティ2000協会様だけです。その御活動から色々勉強させて頂きたいとご連絡したことをキッカケに、今回入会させて頂く機会を頂戴しました。清水様には日頃より私の研究に御協力頂いており、ご親切なお心遣いに心から感謝しております。

日本ではナショナル・トラストの研究者はほとんどいないのが現状です。しかし、世界のナショナル・トラストでは新しい試みが日々行われており、日本のトラスト活動も今後更に発展していくと私は考えています。アメニティ2000協会様の活動に参加させて頂きながら、世界と日本を繋ぐトラストの研究者になるべく精進して参りますので、宜しくお願い致します。



募金のご報告～6月7月

6月、7月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

*文化遺産継承基金

《6月7月合計 468,651円 2015年度累計 1,498,860円》

講演会風景



受付

見学会 (図書館)

